

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報		事業番号	0310/450505/07/03	事業の種類	4		
年度	19	事務事業名	救急啓発事業	作成日	平成21年1月20日	重要度	5
予算事業名	救急・救助業務経費		担当部課名	消防本部 消防課			
政策名	すこやかに暮らせる、心かようまちづくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
施策名	消防・防災体制		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民等が医療機関等の利用をしやすくなったり、市民が応急手当の知識・技術を習得する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		救急普及啓発				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	救急講習	回	61	65	62	60
	救急普及啓発運動	回	1	1	1	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.753	0.700	93.0	0.172	24.6	0.620	360.5	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	7,642,236	6,732,234	88.1	2,236,157	33.2	6,037,012	270.0	
	事業費	30,153	8,977	29.8		-		-	
	合計	7,672,389	6,741,211	87.9	2,236,157	33.2	6,037,012	270.0	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,672,389	6,741,211	87.9	2,236,157	33.2	6,037,012	270.0	
合計	7,672,389	6,741,211	87.9	2,236,157	33.2	6,037,012	270.0		

4 評価指標

【有効性】

指標名1		救急講習事業							
指標説明(式)		救急講習開催数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
回	目標	40	50	125.0	60	120.0	60	100.0	
	実績	61	65	106.6	62	95.4			
指標名2		救急講習修了者数							
指標説明(式)		救急講習修了証交付者数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
人	目標	250	300	120.0	300	100.0	300	100.0	
	実績	496	451	90.9	371	82.3			

【効率性】

指標名1		救急講習一回当たりのコスト							
指標説明(式)		『人件費』+『消耗品』+『訓練資器材』÷講習回数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	11,703	10,371	88.6	7,971	76.9	5,802	72.8	

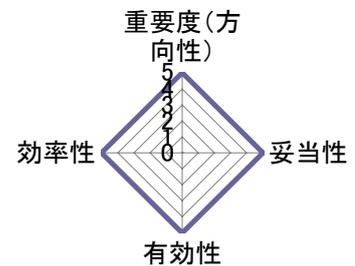
指標名2		救急講習受講者数一人当たりのコスト							
指標説明(式)		『人件費』+『消耗品』+『訓練資器材』÷受講者数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	507	464	91.5	665	143.3	471	70.8	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	救命には、逸早い処置が必要であり、救急講習受講者が増加する事で、救命率向上に反映する。	5	5
	市民ニーズ	救急講習を受講する事で、応急手当の普及啓発を図る。		
有効性	期待する目標	年間300人以上が救命講習を修了した。	5	5
	市民サービス	誰もがイザという時、使える救急法の指導を行った。		
効率性	手段の最適性	講習時間・講習種目等、講習方法に幅を持たせることで、誰もが受講しやすいよう心掛けた。	5	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	組織運営・適正管理	救急講習を広めたいが、職員の派遣に無理があり、講習回数に制限がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	早い時期に救急講習会の計画を立て、業務に支障がない体制をとる。
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

AEDを含めた救急講習の普及啓発

検討の有無	—
総合指標	27.5